



船橋市立習志野台第二小学校

コミュニティ・スクール通信

令和8年
2月27日(金)

第3号

第3回学校運営協議会が開催されました。6年生を送る会参観、給食の試食の他、今年度の学校評価及び学校経営の成果や課題、次年度の学校運営についてさまざまなご意見をいただきました。

第3回 学校運営協議会概要

1 日時 令和8年2月20日(金) 9時20分～12時30分

2 場所 習志野台第二小学校第二会議室

3 委員 安田 雅行 委員 習志野台第二小学校スクールガード
磯野 一男 委員 船橋市スポーツ協会副会長
大内 悦子 委員 習志野台8丁目町会常任理事、青少年育成会
杉山 智弘 委員 船橋市東図書館長
畑 俊一 委員 船橋市習志野台公民館長
橋本 知枝 委員 習志野台地区民生児童委員協議会主任児童委員
東山 直樹 委員 習志野台第二小学校 PTA 会長
田中 紀代美 委員 習志野台第二小学校長
出席者8名、欠席者0名、傍聴者なし ※事務局:教頭 保坂 正太郎

4 開会

5 議事

(1) 開会

(2) 6年生を送る会参観





(3) 校長挨拶

(4) 運営協議

① 学校評価について

「令和7年度 学校評価アンケート」

「令和7年度 教職員による業務内容評価」

「令和7年度 学校評価について(案)」

「令和7年度 学校運営協議会委員評価」

※事務局より概要説明

【委員】

- ・ 学校評価は、毎年「よくできている」の評価である。次のステージを目指す段階にきているのではないか。
- ・ 毎年同じ項目で評価しているので、取り組み内容が見えない。
- ・ 全国学力・学習状況調査令和7年度と令和4年度の結果を見ると、国語の「話すこと・聞くこと」は全国を上回っている。しっかりと分析する必要がある。
- ・ 今年度の教育課程の5つの重点に評価を入れた方がよい。
- ・ 評価項目について見直した方がよい。
- ・ ICT 活用については成果がでてきている。
- ・ 2年生の授業で、自分で考えをまとめて、子供同士で交流する学習がとてもよかった。
- ・ 評価の設定を検討する時期にきているのではないか。

【委員】

- ・ 学校評価を次年度に生かすことが必要である。
- ・ 保護者に観点を示す、具体例を示す等、保護者がわかる内容にすることが大事である。
- ・ どのようなことを評価してほしいのか工夫が必要である。
- ・ 行事を参観すると、子供たちは能力が高い子供たちと感じる。
- ・ 集団行動について、文科省の資料を参考にするとよい。日頃からの指導が大事である。

【委員】

- ・ 公民館でも利用者にアンケートを取っている。「どちらかと言えばよい」という回答には、どのような部分なのか確認をしている。
- ・ 生成 AI 活用の研修が重要である。子供から考える能力を奪ってしまうのではないか。

【委員】

- ・ 生成 AI は便利に使っている。しかし、情報が一人歩きしてしまうこともある。本は、根拠を大事にしている。
- ・ 正しい情報、根拠を調べるために図書館を活用してほしい。司書が探し方を教えている。小さいうちから、活用してほしい。
- ・ 学校評価は、概ね好評価であった。
- ・ ICT 機器活用で、効率化が進んでいる。
- ・ ユニバーサルデザインは、校内で情報共有するとよい。
- ・ 「お話給食」の取り組みはよい。図書館でも本の紹介等協力できる。
- ・ 高学年は、生活の場が広がる。いろいろな選択肢があることを伝えてほしい。

【委員】

- ・ 評価項目を変えずにいるのは、経年変化を分析するためである。
- ・ 職員の評価結果では、人材活用のポイントが低い。保護者の中から、協力者を募るのはいかがか。昔遊び等は、祖父母に協力してくれる方がいるのではないか。
- ・ 保護者の学校評価は高評価である。
- ・ 児童の結果では、「自分の意見を発表する」ことについて低かった。もっと話したいと思っているのではないか。
- ・ 校内の清掃は行き届いているが、施設面では手入れが必要な箇所もある。一市民として市に訴えていかなければならない。

【委員】

- ・ 現在の4観点から3観点に変更をすると、中央の「2」に集中してしまうのではないか。
- ・ マラソン大会はやめた方がいいという意見があったが、保護者としては、体力作りのために、順位はつけなくてもいいので続けてほしい。
- ・ 外部(企業)の職業体験を取り入れた方がいいのではないか。

② 次年度の学校運営に向けて

- ・ 令和8年度教育課程の編成について

6 その他

- ・ 卒業式について

7 閉会

8 給食試食会